

朝日 2012年12月18日

「たね蒔きジャーナル」

他局で後継番組開始

原子力発電の問題点を積極的に取り上げてリスナーに支持されながら、9月に放送を終えた毎日放送（本社・大阪市北区）のラジオ「たね蒔きジャーナル」。

その精神を受け継ぐ新番組が、1月から大阪府岸和田市のコミュニティFMで始まる。「たね蒔き」のたねに集められた寄付がいか

原子力発電の問題点を積

積極的に取り上げてリスナー

に支持されながら、9月に

放送を終えた毎日放送（本

社・大阪市北区）のラジオ

「たね蒔きジャーナル」。

その精神を受け継ぐ新番組

が、1月から大阪府岸和田

市のコミュニティFMで

始まる。「たね蒔き」のた

ねに集められた寄付がいか

された。

「たね蒔き」は2009

年に始まり、平日午後9

10時に放送された。毎日放

送アナウンサーが司会し、

原発に批判的な京都大学原

子炉実験所の小出裕章助教

らを招いて、危険性や課題

を伝えた。番組終了の方針

を知ったリスナーらは「す

きすきたねまきの会」を作

って存続運動を展開。市民

スポンサーとして番組を支

えようと寄付を募り、約1

千万円が集まった。

番組が終わったため、会

は寄付金を返そうとした

422/8

が、「たね蒔き」の精神を継ぐものに使って」と約500人の866万円が残った。会のメンバーで放送作家の石井彰さんやアジアプレス大阪事務所代表の石丸次郎さん、反貧困ネットワークの湯浅誠さんらが中心となり、新たな番組の実現にこぎつけた。

新番組「ラジオ・フォーラム」は、コミュニティFM「ラヂオきしわだ」で1月12日から毎週土曜に放送する。1時間にわたって原発や生活保護など社会問題を取り上げる。宮城や兵庫、福井など15局ほどのコミュニティFMも放送予定で、インターネットでも聴ける。初回は小出助教がゲストで出演する。（尾崎千裕）